

第 34 期

中間事業のご報告

自 平成14年4月 1日
至 平成14年9月30日

株式会社 **高見沢サイバネティックス**

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は、平成14年9月30日をもちまして第34期（平成14年度）の中間決算を行いましたので、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、景気低迷の長期化、デフレ経済の進行による企業収益の悪化に伴う設備投資の抑制、雇用や所得の先行き不安から個人消費の低迷、米国経済減速の影響による株価の低迷等、非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社では主力製品である自動券売機や駅務システムを中心とした交通システム機器及びメカトロ機器並びに特機システム機器の専門企業として、新規需要の発掘・新規分野の顧客開拓等、積極的な営業活動を展開いたしました。また、技術研究開発の連携強化による製品開発期間の短縮化を図るとともに、将来を展望した新技術の研究開発を、一方生産部門においてはトータルコストダウン及び製造品質の向上を目標とした製造技術の再構築を図り、専門企業としての体制の確立に傾注してまいりました。

その結果、当中間期の売上高は、交通システム機器部門においては一部主要取引先が自動券売機等の駅務自動化システム機器類の納期を下期に変更、またメカトロ機器部門においては金融システム機器用硬貨入出金装置等の下期への受注の繰り延べ等により、30億3千9百万円と前年同期に比べ、5億9千2百万円の減少となりました。

また損益面につきましては、役員報酬・全管理職給与等の人件費の削減を始め、その他の諸経費の削減、原価低減の徹底等収益構造の改革に努力してまいりましたが売上高の減少の影響は大きく、誠に遺憾ながら中間経常損失は3億3千4百万円となり、中間損失は2億2百万円となりました。

【部門別の概況】

[交通システム機器部門]

交通システム機器部門については、一部主要取引先の自動券売機等の駅務自動化システム機器類の納期が下期に繰り延べられたことにより、売上高は9億4百万円となり、前年同期に比べ3億9千2百万円の減少となりました。

[メカトロ機器部門]

メカトロ機器部門については、金融システム機器用硬貨入出金装置等各種ユニット類の導入計画が下期へ繰り延べられたことにより、売上高は14億9千3百万円となり、前年同期に比べ3億1千4百万円の減少となりました。

[特機システム機器部門]

特機システム機器部門については、特にセキュリティゲート等の受注の増加により、売上高は6億4千1百万円となり、前年同期に比べ1億1千4百万円の増加となりました。

今後の経済見通しにつきましては、一部に持ち直しの動きが見られるものの、景気の先行きは依然として不透明であり、引き続き景気回復が遅れ、企業収益や個人消費は低迷したまま推移するものと予測されます。

当社といたしましては、このような厳しい状況のなかで、安定した受注確保に向けた営業活動の強化、専門分野の基礎研究開発力、高付加価値新製品の開発、生産効率の向上、原価の低減、経費の削減等を推進し、業績の向上と将来への発展基盤の確立を目指し努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月

代表取締役社長 **高見澤 和夫**

中間貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|---------------|-----------|---------------------|-----------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 6,743,918 | 流動負債 | 4,935,312 |
| 現金及び預金 | 2,108,085 | 支払手形 | 1,336,855 |
| 受取手形 | 199,575 | 買掛金 | 408,495 |
| 売掛金 | 2,147,308 | 短期借入金 | 2,890,000 |
| たな卸資産 | 1,826,211 | 未払法人税等 | 11,886 |
| 繰延税金資産 | 304,124 | 賞与引当金 | 113,113 |
| その他の流動資産 | 161,010 | その他の流動負債 | 174,963 |
| 貸倒引当金 | 2,397 | 固定負債 | 2,557,164 |
| 固定資産 | 3,182,598 | 長期借入金 | 600,000 |
| 有形固定資産 | 1,757,336 | 退職給付引当金 | 1,888,361 |
| 建物 | 717,099 | 役員退職慰労引当金 | 68,802 |
| 機械及び装置 | 17,711 | 負債合計 | 7,492,477 |
| 工具器具備品 | 460,316 | (資本の部) | |
| 土地 | 552,640 | 資本金 | 700,700 |
| その他の有形固定資産 | 9,567 | 資本剰余金 | 1,083,430 |
| 無形固定資産 | 22,334 | 資本準備金 | 1,083,430 |
| 投資等 | 1,402,927 | 利益剰余金 | 641,860 |
| 投資有価証券 | 161,242 | 利益準備金 | 109,500 |
| 子会社株式 | 100,000 | 別途積立金 | 1,000,000 |
| 敷金及び保証金 | 191,989 | 中間未処理損失 | 467,639 |
| 繰延税金資産 | 949,281 | (うち中間損失) | (202,929) |
| その他の投資等 | 20,883 | その他有価証券評価差額金 | 8,199 |
| 貸倒引当金 | 20,469 | 自己株式 | 149 |
| 資産合計 | 9,926,517 | 資本合計 | 2,434,039 |
| | | 負債及び資本合計 | 9,926,517 |

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額 | 3,338,505千円 |
| 3. 受取手形割引高 | 16,871千円 |
| 4. 自己株式の数 | 210株 |
| 5. 商法第290条第1項第6号に規定する純資産額 | 8,199千円 |
| 6. 1株当たり中間損失 | 22円42銭 |

中間損益計算書

〔自 平成14年4月1日
至 平成14年9月30日〕

(単位:千円)

| 科 目 | | 金 額 | |
|--------------|-----------------|-------------------------------------|-------------------------|
| 経常損益の部 | 営業損益の部 | 営業収益 売上高 | 3,039,328 |
| | | 営業費用 売上原価及び一般管理費 | 2,295,431 1,088,684 |
| | | 営業損失 | 344,787 |
| | 営業外損益の部 | 営業外収益 受取利息 受取配当金 その他の営業外収益 | 565 27,817 15,241 |
| | | 営業外費用 支払利息 その他の営業外費用 | 26,471 7,224 |
| | 経常損失 | | 334,857 |
| 特別損益の部 | 特別損失 固定資産除却損 | 499 | 499 |
| 税引前中間損失 | | | 335,357 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | | 4,747 |
| 法人税等調整額 | | | 137,175 |
| 中間損失 | | | 202,929 |
| 前期繰越損失 | | | 264,710 |
| 中間未処理損失 | | | 467,639 |

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

会 社 の 概 要 (平成14年 9月30日現在)

- ・ 商 号 株式会社高見沢サイバネティックス
- ・ 設 立 昭和44年10月 1日
- ・ 資 本 金 700,700,000円
- ・ 会社が発行する株式の総数 29,600,000株
- ・ 発行済株式の総数 9,050,000株
- ・ 株 主 数 800名
- ・ 従 業 員 数 430名

1 . 主要な事業内容

次の商品の製造及び販売を主な事業としております。

交通システム機器: 自動券売機・自動精算機・回数券自動券売機・定期券発行装置・自動改札装置・有人ゲート・データ集計機・カード発売機・券印刷発行機・駅収入管理装置 等

メカトロ機器: 発券ユニット・紙幣ユニット・コインホッパー・コインユニット・カード搬送ユニット・カード処理ユニット・金融端末機器・流通関連機器 等

特機システム機器: 各種自動券売機・自動精算機・券印刷発行機・入出場管理システム・各種入出場ゲート・セキュリティゲート・非接触ICカードシステム・コインゲート・両替機・各種カード発売機・無停電電源装置・地震計システム・DC/ACアダプター・突入電流測定器・オープン温度試験槽 等

2 . 主要な事業所

| | |
|---------|---|
| 本 社 | 東京都中野区中央 2 丁目48番 5 号 中野平和ビル |
| 支 所 | 荻 窪 支 所 (東京都杉並区) |
| 分 室 | 中 野 分 室 (東京都中野区) |
| 営 業 所 | 大 阪 営 業 所 (大阪市) 名 古 屋 営 業 所 (名古屋市) 福 岡 営 業 所 (福岡市) 長 野 営 業 所 (長野県南佐久郡) 高 崎 営 業 所 (群馬県高崎市) |
| 工 場 | 長 野 第 一 工 場 (長野県南佐久郡) 長 野 第 二 工 場 (長野県佐久市) 長 野 第 三 工 場 (長野県南佐久郡) |
| 研究開発施設 | 技 術 棟 (長野県南佐久郡) |
| 海 外 拠 点 | ドイツ駐在事務所 (ドイツ国フレイバルデ) |

役員（平成14年9月30日現在）

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 高見澤和夫 |
| 専務取締役 | 今井貞夫 |
| 取締役 | 北川正明 |
| 取締役 | 増沢敬次 |
| 取締役 | 佐藤統 |
| 取締役 | 広田和資 |
| 取締役 | 矢ヶ崎和良 |
| 取締役 | 菅原保則 |
| 取締役 | 鶴岡亨彦 |
| 取締役 | 守谷高志 |
| 常勤監査役 | 中島勝 |
| 常勤監査役 | 寒河江宏臣 |
| 常勤監査役 | 潮屋信 |
| 監査役 | 原凱彦 |

（注）取締役のうち、菅原保則、鶴岡亨彦、守谷高志の3氏は商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。

監査役のうち、寒河江宏臣、原凱彦の両氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

| | |
|------------------|--|
| 決 算 期 | 3月31日 |
| 定 時 株 主 総 会 | 6月中 |
| 株 主 確 定 基 準 日 | (1) 利益配当金 3月31日 (2) 中間配当を行う場合は9月30日 |
| 名 義 書 換 代 理 人 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 同 事 務 取 扱 所 | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (郵便番号168-0063) |
| 郵便物送付先 電話お問合せ | 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)3323 7111(代表) |
| 同 取 次 所 | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店 |
| 公 告 掲 載 新 聞 | 日本経済新聞 |

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各
用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120 87 2031で24時間受付
しております。